

※※2020年9月改訂（第7版 販売名変更に伴う改訂）

※2013年4月改訂

〔貯 法〕室温保存

〔注 意〕使用前にはよく振って下さい。

〔使用期間〕36ヶ月

〔使用期限〕製品ラベル及び外箱に表示。使用期限内であっても、

開封後はできるだけ速やかにご使用ください。

日本標準商品分類番号

872318

※※	承認番号	30200AMX00691000
※※	裏面収載	2020年12月
※※	販売開始	1992年9月

消化管内有泡性粘液消去剤

※※

ジメチコン 内用液2%「カイゲン」

DIMETICON ORAL SOLUTION 2%

〔組成・性状〕

1. 組 成

本剤は1mL中にジメチルポリシロキサン20mgを含有する。

添加物として、モノラウリン酸ソルビタン、セスキオレイン酸ソルビタン、グリセリンモノオレエート、キサンタンガム、二酸化ケイ素、パラベン、D-ソルビトール、エタノール、プロピレングリコール、香料を含有する。

2. 性 状

本剤は乳白色の不透明な液で、味はわずかに甘く、わずかに芳香を有する。

〔効能・効果〕

胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去

胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善

腹部X線検査時における腸内ガスの駆除

〔用法・用量〕

胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去に使用する場合：

検査15～40分前にジメチルポリシロキサンとして、通常成人40～80mg（本剤2～4mL）を約10mLの水とともに経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善に使用する場合：

ジメチルポリシロキサンとして、通常成人1日120～240mg（本剤6～12mL）を食後又は食間の3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

腹部X線検査時における腸内ガスの駆除に使用する場合：

検査3～4日前よりジメチルポリシロキサンとして、通常成人1日120～240mg（本剤6～12mL）を食後又は食間の3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

副作用

その他の副作用

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。

	0.1～5%未満	0.1%未満
消化器	軟便、胃部不快感、下痢、腹痛、嘔吐、嘔氣、胃部重圧感、食欲不振	
その他		頭痛

〔薬効薬理〕^{1)～3)}

ジメチルポリシロキサンは気泡と接触すると部分的に表面張力を強く減少させ、表面平衡を著しく乱すことにより破泡する。また、胃内有泡性粘液除去作用を有する。

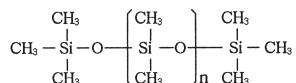
破泡した気泡ガスは吸収又は曖氣、放屁となって体外に排出される。

[有効成分に関する理化学的知見]

一般名：ジメチコン

化学名：Dimethylpolysiloxane (ジメチルポリシロキサン)

構造式：



性状：ジメチルポリシロキサンは無色透明の液で、におい及び味はない。エーテル、クロロホルム、四塩化炭素又はヘキサンに極めて溶けやすく、水にはほとんど溶けない。

[取扱い上の注意]

安定性試験：最終包装製品を用いた安定性試験の結果、本剤は通常の市場流通下において、使用期間の間安定であることが確認された。⁴⁾

[包 裝]

300mL×1本

※[主要文献]

- 1) J. W. Robinson, W. W. Woods : J. Soc. Ind., 67, 361 (1948)
- 2) J. G. Hawke, A. E. Alexander : J. Colloid. Sci., 11, 419, (1956)
- 3) 佐々木泰斗：信越シリコンレビュー8, 203, (1960)
- 4) カイゲンファーマ株内資料

※※※[文献請求先]

カイゲンファーマ株式会社 信頼性保証部 お客様相談室

〒541-0045 大阪市中央区道修町二丁目 5 番 14 号

TEL 06 (6202) 8975

FAX 06 (6202) 0872

※製造販売元

[99・99]

カイゲンファーマ株式会社

大阪市中央区道修町二丁目 5 番 14 号